

# 障害者の自立 円滑に

## 厚労省 一人暮らし支援

18年4月施行の改正障害者総合支援法に基づく新制度として実施。厚労

厚生労働省は一人暮らしの障害者の生活を支える新制度を2018年4月に創設する。民間事業所などの職員が定期的に障害者の自宅を訪れ、食事や洗濯などで困りごとが起きていないか確認する。近隣住民と良好な関係が築けているか相談に応じ、トラブルが起きていれば解決を図る。障害者が自立した生活を送れるように支援していく。

### 一人暮らしの障害者への支援内容

- ・ 食事、洗濯、掃除などに関する助言
- ・ 公共料金や家賃に滞納はないか確認
- ・ 体調に問題が起きていないか確認
- ・ 地域住民と良好な関係を築くためのサポート

(注)厚労省の資料を基に作成

## 来年4月に新制度 自宅巡回 不安軽く

省によると、一人暮らしに不安を覚える障害者は多く、一人暮らしを始めても生活がうまくいかずに施設に戻ってしまう障害者が少なくない。そこで、事業所の職員が障害者の自宅を巡回訪問し、一人暮らしになじめるよう支援する新サービスを創設する。

具体的には、事業所の職員は週1〜2回、障害者の自宅を訪問する。職員は社会福祉士や精神保健福祉士などが想定されている。巡回時には、食事や洗濯などが問題なく行っているか確認するほか、公共料金や家賃の滞納が起きていないかもチェックする。

近隣住民とトラブルになりがちなゴミの出し方について目を配り、問題があればルールを分かりやすく説明する。健康面で問題が起きていないかもみていく。事業所は利用者からの電話やメールでの相談にも対応する。同法に基づく障害福祉サービスのひとつとして提供する。利用者は原則1割負担で巡回訪問を受けられる。残りは国や地方自治体が負担する。厚労省は利用期間を1年とする方向で調整している。

厚労省は施設で暮らす障害者を地域内での生活に移行させようと、住居の確保などで支援事業を行っている。ただ、利用者

### 福井中2自殺 再発防止へ通知

文科省 林芳正文部科学相は20日の閣議後記者会見で、福井県池田町立池田中2年の男子生徒(当時14)が担任らの厳しい指導や

者は月500人前後で伸び悩んでいるのが実態だ。  
現行の地域移行支援は、障害者が一人暮らしを始めるまでのところに力を入れており、一人暮らしを始めた後の支援が手薄だった。こうした反省を踏まえ、厚労省は新制度の創設を決めた。

タービーで馬券に絡んだ

ト 文芸春秋は20日 説「蟬しぐれ」の作家、藤沢周 27(17年)バ に乗じて夏以

57社  
先栗サン  
山月  
中皇  
61  
62  
63  
64  
65  
66  
67  
68  
69  
70  
71  
72  
73  
74  
75  
76  
77  
78  
79  
80  
81  
82  
83  
84  
85  
86  
87  
88  
89  
90  
91  
92  
93  
94  
95  
96  
97  
98  
99  
100